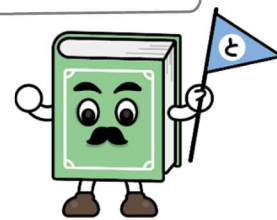


としよえもん



令和5年度第2号(通巻44号)

学校図書館がやってくる！

—図書委員が「出張」して本を貸し出し—

昼休み、2年生の生徒たちでにぎわう廊下の一角に、当番の図書委員がやってきました。カスターのついた本棚(ブックトラック)には、40冊の本が並びます。

さっそく数人の生徒たちが集まり、本を手に取りはじめました。

第二中学校では、4年前から「出張図書館」を行っています。学校図書館が2年生の教室から離れているため、2年生にも、もっと本を読んでもらおうと、始めました。定期的に行っている出張図書館を、「毎回楽しみにしている」という生徒もいます。

本は、学校司書が、人気の作品やさまざまなジャンルから毎回選んで入れ替えます。特にイチオシのものには、POPをつけて紹介しています。

第五中学校

読書週間の昼休みに、「移動図書館」を行っています。各学年のフロアにブックトラックを置き、図書委員が選んだおすすめの本50冊を並べています。

打越中学校

1学期に、学校図書館の紹介もかねて、新入生の教室のそばに1週間、出張しました。今後も続ける予定です。



↑ 月2回行われる、第二中学校の「出張図書館」



南大沢中学校

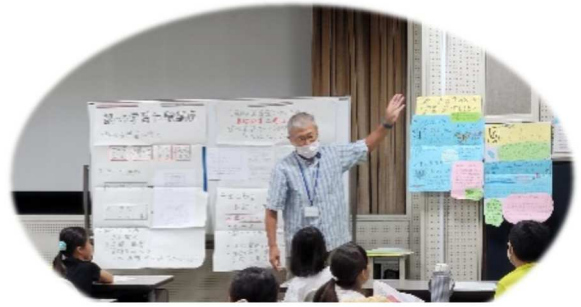
「出張図書館」で本を借りると、図書ボランティアの方々が手作りしたブックカバーとしおりがもらえます。

※ ほかの学校でも、さまざまな工夫をこらした「出張貸出(出張図書館、移動図書館)」が行われています。ブックトラックなどの機材は、学校図書館サポートセンターで貸し出しをしています。

「調べる学習体験講座」今年も開催しました！

夏休みに、小学生を対象にして「調べる学習体験講座」を行いました。児童それぞれが研究テーマを決め、図書館の本を使って調べ、作品にまとめます。午前と午後の2部制で、22名の児童が参加しました。

「なぜ月がついてくるのか」「チューリップのたねについて」「せんそうで家がやけたらどこにすむの？」などのハテナ(テーマ)について取り組みました。



講師の宮本茂先生（八王子市立小学校 元教諭）
会場：中央図書館



学校司書もアシスタントとして参加者をサポートしたよ



(アシスタントスタッフの感想)
 ・テーマに迷っていた児童も最後はきちんと形にできて、みなさん素晴らしかったです。
 ・テーマを絞り込む過程を学び、楽しみながら積極的に図書館を使って調べていました。
 ・作品を完成させることで調べる学習の基本の流れをおさえられるの
 がいいと思います。

〇子どもたちのアンケートより(回答 21 名) はい いいえ・未回答

調べてみたいテーマはすぐ決まりましたか	16 人	5 人
本はすぐ見つかりましたか	15 人	6 人
百科事典や図鑑の使い方がわかりましたか	21 人	0 人
また調べてみたいと思いますか	20 人	1 人
調べる学習体験講座は楽しかったですか	20 人	1 人

校長先生！おすすめの本はなんですか？

八王子市立石川中学校
校長 木暮 恵一郎

『あと少し、もう少し』

瀬尾まいこ 著

新潮社



図書館で偶然出会った瀬尾さんの作品。家族の話が中心ですが、元々中学校の国語の先生なので、共感する部分がとても多かったです。一人ひとりの子どもたちの心情が強く伝わってきます。このお話は、中学校駅伝大会の話で、頼りない美術の顧問の先生と、寄せ集められた 6 人の生徒たちがたすきをつなぐ、大人が読んでも泣けてくる青春小説です。

八王子市立山田小学校
校長 小林 文秋

『いやいやえん』

中川李枝子 作／大村百合子 絵

福音館書店



小学5年生くらいのころ、タイトルに魅かれて読みました。この本は人生の縮図です。我儘に自分の要求を押し付ける社会は所詮住みにくいことになり、その場の言い逃れは長い目で見ると自分にはね返ってくることを学びました。何歳になって読んでも新鮮で、「正しい事は何か」を常に考えさせてくれます。ぜひ、この一冊を読んでみてください。

令和5年度「図書館を使った調べる学習コンクール」
八王子市内からの応募総数は1,028点でした。
次号令和5年度第3号で特集します。

発行：令和5年(2023年)12月15日

八王子市教育委員会教育指導課
学校図書館サポートセンター
問い合わせ：042-664-1193

